



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻
第6号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第6号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1978, 24(6): 528-528

ISSUE DATE:

1978-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122214>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 24 巻 第 6 号

1978年6月

長期血液透析患者の臨床的検討

第2編 長期血液透析患者の貧血.....大井 和夫・ほか 453
ラットの腎盂造影法.....藤田 公生・ほか 467

膀胱腫瘍の再発に関する臨床統計的観察

第1報 とくに膀胱鏡所見による再発率について.....大森 弘之・ほか 469

尿管S状結腸吻合術の再検討

第4報 術後生活状況.....林田 重昭・ほか 475

尿道狭窄に対する経尿道的直視下手術の経験.....斯波 光生・ほか 481

急性副甲状腺機能亢進症の1例.....松浦 健・ほか 487

両側卵巣エンドメトリオーシスによる尿管狭窄の1例.....岡 聖次・ほか 495

膀胱後部腫瘍(気管支原性嚢胞)の1例.....中野 悦次 501

乳児睪丸回転症の2例.....河村 信夫・ほか 507

複雑性尿路感染症に対する Biklin の使用経験.....深津 英捷・ほか 511

排泄性腎盂造影前処置としてのエクセラゼカプセルの使用経験.....波辺 康介・ほか 517

尿管結石に対する Cospanon の排石効果.....海野 良二・ほか 521

CONTENTS

A Clinical Investigation on the Patients Under the Long-term Hemodialysis	大井 和夫・ほか 453
Part II. Anemia of the Patients Under the Long-term Hemodialysis	K. Danno 453
Intracardiac Pyelography in the Rat	K. Fujita et al. 467
Clinico-Statistic Study on Recurrence of Tumor of the Bladder	
Report I: Recurrence Rate Estimated by Cystoscopic Findings	H. Ohmori et al. 469
Reappraisal of Ureterosigmoidostomy	
Part IV. Investigation of <i>per Anum</i> Voiding and Daily Life after Ureterosigmoidostomy	S. Hayashida et al. 475
An Experience with the Transurethral Incision and Resection for Urethral Stricture	T. Shiba et al. 481
Acute Hyperparathyroidism: Report of A Case	T. Matsuura et al. 487
Bilateral Ureteral Obstruction Due to Bilateral Ovarian Endometrioses:	
A Case Report	T. Oka et al. 495
Retrovesical Tumor (Bronchogenic Cyst): Report of A Case	E. Nakano 501
Torsion of the Spermatic Cord Occurring in Early Infancy:	
A Report of Two Cases	N. Kawamura et al. 507
Clinical Use of Biklin in Complicated Urinary Tract Infections	H. Fukatsu et al. 511
Clinical Study of Excelase Capsules for the Preparation of Excretory Urography	K. Watanabe et al. 517
Effect of Cospanon on Discharge of Ureteral Stone	R. Unno and Y. Yamamoto 521

〒606 京都市左京区聖護院川原町
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部

泌 尿 紀 要

Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica
Department of Urology
Kyoto University Hospital
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606

編 集 後 記

八坂神社から松尾神社までの間に、つまり四条を通過して京の街を東から西へ横切る間に踏切が3つあった。国鉄山陰線は単線で列車の本数が一番少なかった。それでも今は高架になっている。ほかの踏切は昔のままで、ラッシュ時には車が数珠つなぎとなり、迷惑なこと甚だしい。こういう状態はなかなか変らないもので、通勤の不便は諦めるより仕方があるまい。

もうお気付きの方もあるかもしれない。本誌の Tabel の様式を少し変えてみた。欧米の雑誌の Tabel と同じく横線のみとし、縦線は全部とってしまった。見にくいとの評、すっきりしたとの感、いろいろあるにちがいない。費用と労力を省くことが1つの目的、これはまた投稿諸氏の費用の軽減に帰することになる。要は、升目がなくとも理解しやすい Tabel を作っていただきたいにつきる。

そのほかにも1, 2新しいことを試みていきたい。真の目的は本誌の level up である。いろいろの御意見を寄せていただきたい。(T. K.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 畜 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。ただし合併号を出すことがあります。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第6号	1978年6月25日 印刷	1978年6月30日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
